

在日朝鮮人食の歴史

講師 鄭 大 聲 (チョン・デソ)
(滋賀県立大学名誉教授)

今、どこに行ってもキムチなどの韓国・朝鮮食品が売られています。大手のチェーン店でもビビンパッ、トウブチゲ、キムチラーメンなどが普及しています。この普及には在日韓国・朝鮮人による食文化の果たした役割が大きく、ホルモン、焼き肉にはじまる歴史があります。

今回の展示（「焼き肉・キムチ大好き」）は、在日韓国・朝鮮人が作り上げてきた食文化の歴史の中からその実像を学ぼうとするものです。戦前の在日朝鮮食文化の否定の時代から戦後食糧難の時代のホルモン焼き、その後の焼き肉の普及など、歴史を考えます。現在では、韓国人による新たな食文化が展開し、日本人に支持されるようになりました。

この在日食文化をより理解するために下記講演会を開催します。



講師紹介

朝鮮料理・在日朝鮮人の食生活に最も詳しい知識を持ち著作も多数刊行されている。また、在日韓国・朝鮮人料理店、食材店などの顧問もつとめられている。都内大学でも講義をしておられ、日本における朝鮮食文化史の権威者です。今回は在日朝鮮人としての食を中心にした体験と食生活史についてお話をいただきます。

主な著書「焼き肉・キムチと日本人」

日時：6月4日(土)
15時～17時

場所：高麗博物館 展示室

参加費：1,000 円 (入館料 含む)

問合せ：高麗博物館

(会場の都合により先着 50 名様に
限らせていただきます。)